

講義名	(対面) 中国語中級 B		
科目区分	選択外国語		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング / 2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

すでに学んだ中国語の基礎を復習しながら、さらに新しいものを積み上げ、中国語の運用に必要な知識を一通りすべて学びます。中国語の文法は、英語のように多くはありませんが、それを運用できるかどうかが問題です。中国語学習者にありがちなタイプとして、発音を軽視し、リスニングはまったくお手上げという人がいます。「聞く、話す、書く、読む」すべてにおいて、中級レベルに達しなければ意味がありません。自分の足りない部分を知り、弱いところは、初心に戻って学び直す気持ちが必要です。

到達目標

中国語検定4級～3級を目指せる力を身につける

提出課題

毎回、課題があります。課題は授業で学んだ文法のドリルなどになります。課題はRYUKA Portalの「レポート提出」から提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

毎回の課題に対しては、翌週の授業で講評を行います。

評価の基準

次の3点を総合的に判断します
1. 平常点（出席状況、授業態度）
2. 課題提出
3. 定期試験
なお、この授業は対面授業を予定していますが、状況によって授業形態が変わる可能性があり、授業の在り方が変われば、各評価の割合も変わります。詳しくは、随時授業において説明します。

履修にあたっての注意・助言他

ややレベルの高い中国語クラスです。対象学生は、「ブラッシュアップ中国語」を終えた人、GSP（グローバル・スタディーズ・プログラム）生などを想定しています。なお中国人留学生は受講できません。教科書は必ず各自購入してください。

教科書	中国語 つぎへの一歩。	白水社	伊景春・竹島毅	2200 + 税	978-4-560-06924-0
-----	-------------	-----	---------	----------	-------------------

プリント資料及び参考文献

プリントはRYUKA Portalの「講義連絡」にアップします。

授業計画

1. ガイダンス
2. 第1課 中国へ行こう
3. 第2課 ジャスミン茶を飲もう
4. 第3課 友だちをつくらう
5. 第4課 長城に登ろう
6. 第5課 卓球を楽しもう
7. 第6課 漢字を覚えよう
8. 中間テスト（状況により実施しない場合があります）
9. 第7課 街を歩こう
10. 第8課 中国映画を見よう
11. 第9課 チャイナドレスを買おう
12. 第10課 中華を食べよう
13. 第11課 西遊記を読もう
14. 第12課 春節を祝おう
15. 調整日

授業進度は1.5回の授業で1課を消化するペースを基本とします。

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（授業前）新しい課に入る時は、事前に単語帳（ワークシート）を別途配布します。単語帳は自宅で完成させてください。また、次の授業で学ぶところに目を通し、自分の分かるところ、分からないところを把握しておきましょう。それをするだけでも、授業の理解度が格段にアップします。（約1時間半～2時間）

（授業後）復習はしっかりと。授業で学んだことを自宅でもう一度振り返り、しっかり理解していくことが必要です。授業時間内にできなかったドリルは宿題とします。（約2時間～2時間半）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

この授業は対面授業を予定しています。